



主な内容

- ②中央公園を閉鎖しています
- ④お引っ越しの際は、住所の異動手続きを忘れずに！
- ⑤市民伝言板 サークル仲間募集
- ⑦令和5年度採用予定 正規職員募集（保健師）

発行：清瀬市 編集：企画部シティプロモーション課 〒204-8511 清瀬市中里五丁目842 ☎042-492-5111 (代表) FAX 042-492-2415 メール：kouhou@city.kiyose.lg.jp

令和5年

# 所 信 表 明

(要旨)

3月1日に開会した清瀬市議会第1回定例会で、澁谷桂司市長が、令和5年度の基本的な市政の運営方針や主要事業についての考え方を表明しましたので、その要旨をお知らせします。なお、所信表明の全文は市ホームページに掲載しています。



全文はこちら



## はじめに

昨年4月に市長に就任させていただき1年が経とうとしています。この間、各公共施設を視察し直接現場の皆さんの声を聞いたり、部課長をはじめ職員の皆さんとの面談を行ったりしながら、改めて、市政のさまざまな課題を認識し、一つ一つの課題の解決に向け懸命に取り組んでいます。

そうしたなか、今回初めての当初予算編成にあたっては、市民の皆さまのさまざまな負託に応えるべく、最小の経費で最大のサービスを提供できるよう、前例にとらわれない改善の視点をもって予算編成に取り組んでまいりました。市財政が厳しい状況にあることに変わりはありませんが、行財政改革を着実に進め、市民の皆さまの福祉の向上のため、行政課題に積極的に対応する予算が編成できたと考えています。

## 子育てが楽しいと思えるまちに

これまで、中学生までのお子様を対象に行っていたインフルエンザ予防接種費用の助成を、東京都の高校生等医療費助成制度の創設に合わせ18歳まで拡充します。また、0歳から6歳のお子様1人につき1万円の給付を行います。さらに、引き続き子育てクーポン事業を行うなど子育て世帯への支援に努めてまいります。

改修工事中の健康センターは、5月に「しあわせ未来センター」としてリニューアルオープンします。しあわせ未来センターは、これまでの健康センター機能に加え、1階には

# 希望に満ちあふれた清瀬の未来を創造します

子育て世代包括支援センター、2階には子ども家庭支援センター、教育支援センター、教育相談室が入り、お子様に関するさまざまな相談窓口を集約し、妊娠から子育てまでの切れ目のない支援を行います。



しあわせ未来センター外観

学校教育では、教育環境の改善に向け、小学校体育館の大規模改修や照明器具のLED化などを進めるほか、新校の建設に向け、策定委員会やシンポジウムなどを開催し、新校建設の基本構想、基本計画を策定します。

## 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちに

がん検診の受診率の向上を図るため、胃がん、大腸がん、肺がんのセット検診の定員をさらに増やして実施するとともに、大腸がん検診を特定健診とセットで受診していただけるようにします。

また、長引くコロナ禍により、心身のストレスから免疫力が低下して帯状疱疹を発症する方が増加しています。帯状疱疹は、50歳以上の方にワクチンを接種することで、発症予防、重症化予防が期待できることから、帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を行います。

健康の維持、増進には、ウォーキングが効果的なことから、新たにウォーキングマップ・デジタルウォーキングラリー事業を開始します。GPSと連動したWEB上の地図にある設定コースを歩くことでポイントを獲得し、貯まったポイントで抽選により景品をプレゼントします。



さらに、在宅で医療や介護を受けながら生活する方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、新たに定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を整備します。

人生の節目の一つとなる20歳をお祝いする「20歳のつどい」を市全体で盛り上げていきたいと考えています。その一つとして、振袖などを用意することが経済的に困難な方に対し、レンタル料等を補助する「清瀬の20歳応援事業」を新たにを行います。

そのほか、がん患者の方がウィッグ等を購入する費用の助成など、市

民の皆さまがいきいきと暮らせるまちを目指して、きめ細やかなサービスを進めてまいります。

## ゼロカーボンシティの実現

ゼロカーボンシティの実現に向け、地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定します。この計画では、温室効果ガス排出量削減について、市、市民、事業者、それぞれの役割に応じた取り組みと目標を示します。また、きよバスにEVバス(電気バス)を導入するほか、庁用車もガソリン車から電気自動車への移行を進めます。



さらに、地域農業者支援事業として、農業のDX化や農機具の電動化にかかる経費を補助するほか、市民の皆さまが太陽光発電機器等を設置する際の補助の拡充を図るなど、脱炭素社会に向けて取り組みを進めます。

## 選ばれるまちに

清瀬駅周辺のにぎわいを創出する未来構想を戦略的に検討するための基礎調査を行います。また、長年の懸案であります秋津駅8号踏切付近の道路拡幅整備を検討していくため、交通量調査や道路の概略設計を行います。

農業の振興については、都市農地賃借促進事業として、農地の土壌改良等の経費に対する補助金を創設するほか、コロナ禍で3年間開催できていない「ひまわりフェスティバル」は、新たに予約システムを導入するなど、感染症対策やオーバーツーリズム対策を行ったうえで開催したいと考えています。



商工業の振興については、商工会に対し、市内でデジタル通貨として利用できる専用アプリを構築する経費を補助するほか、市内の消費喚起を図るため、プレミアム付デジタル商品券の発行を行います。

シティプロモーションについては、清瀬駅が令和6年に開業100周年を迎えることから、機運醸成に向

けたグッズや清瀬駅発着メロディの作成などを進めます。清瀬市の魅力や価値を高めていけるようシティプロモーションに積極的に取り組み「選ばれるまち清瀬」を目指します。

## 安全安心なまちに

安全安心なまちづくりは、市政の最重要課題です。清瀬市消防団の皆さまには、災害時に重要な役割を担っていただいておりますが、この消防団のレベルアップを図るため、重機の操縦技術など特殊技能を持った団員などで構成する機能別分団を創設するなど、防災体制のさらなる充実、強化を図ります。



## 市役所改革 自治体DXの推進

市政の課題は多岐に渡り、課題を解決するには、市の職員が働きやすい環境を整え、組織としての生産性を上げ、一つ一つの政策を確実に進めていくことが必要です。そのための、組織改革と意識改革を進めていますが、効率的で機能的な業務執行体制を整えるため4月1日付で組織改正を行います。

業務のアウトソーシング化については、学童クラブ3施設に指定管理者制度を導入するほか、粗大ごみの受付業務や道路清掃業務などの委託化を図ります。また、公共施設における自動販売機の設置運用の見直しを行うことで税外収入の確保に努めるなど行財政改革を着実に進めます。

自治体デジタルトランスフォーメーションの推進は、これからの行政経営に欠かすことのできない取り組みです。マイナンバーカード等を活用して申請書等の記入を簡略化する、いわゆる「書かない窓口」を実現するためのシステムを導入し、市民の皆さまの手続きの負担軽減を図ります。

## おわりに

希望に満ちあふれた清瀬の未来の創造に向け、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、市民の皆さま、議員の皆さまの一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。私の所信表明といたします。